

|       |   |     |      |      |    |
|-------|---|-----|------|------|----|
| 教科    | 国語科   | 科目名 | 国語総合 | 単位数  | 3  |
| 学科    | 全学科   | 学年  | 1 学年 | 履修区分 | 必修 |
| 使用教科書 | 大修館書店 新編 国語総合                                   |     |      |      |    |
| 副教材など | 数研出版 クリアカラー 国語便覧、尚文出版 常用漢字クリア<br>国語辞典、古語辞典、漢和辞典 |     |      |      |    |

## 1. 科目の目的

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

## 2. 授業の内容と進め方

- ・論理的な文章を扱う場合、構成や展開に注意して内容を理解し、主題を的確にとらえることを目指します。また、必要に応じて要約も行います。
- ・文学的な文章を扱う場合、描かれた人物や情景、心情などを表現に即して読み味わい、的確にとらえることを目指します。
- ・古文の場合、文語のきまり(歴史的かなづかい、用言・助動詞の活用や用法、係り結び、敬語法、音便等)についても学びます。
- ・漢文の場合、訓読のきまり(訓点、書き下し文)を理解し、漢文特有の表現に親しむことを目指します。
- ・さまざまな文章を読むことを通して、ものの見方、感じ方、考え方を広げ、深めていきます。
- ・漢字の読み・書き、語句の意味・用法などを理解し、語彙を豊かにします。
- ・文や文章の組み立て、表記の仕方などを理解し、目的や場に応じた表現を身につけるとともに、様々な表現方法、伝達方法についても学びます。

## 3. 学習する上での留意点

- ・授業には集中して臨み、ノートをきちんと取るのはもちろんのこと、必要なことは自分でメモしたり、まとめたりすること。
- ・準備するよう指示された教材は、必ず学校へ持参すること。また、配布されたプリント類はノートに貼るなどして整理に努めること。
- ・不確かな言葉があった場合は、必ず辞書を引いて正確な理解や表現に努めること。
- ・家庭学習課題として出されたものは、辞書や便覧等を利用して自分の力でを行い、提出期限を厳守すること。また、やむを得ず期限を遅れる場合は、必ずその旨を教科担当者へ連絡すること。
- ・日ごろから新聞や書物を読んで、自分の考えを表現するための材料集めに努めること。

## 4. 課題等について

- ・語彙を豊かにし、国語についての知識を深めるために、主に文字力問題やクリアカラー国語便覧をもとにした課題を出すことがあります。

## 5. 成績評価規準(評価の観点及び趣旨)

| 評価の観点    | 評価規準   |
|----------|--|
| 関心・意欲・態度 | 1. 文章の内容や特色を進んで読み取り、自分の意見や考えを広げたり深めたりしたか。<br>2. 言葉に関心を持って適切に使用したり、自分の考えを進んで伝えたりしたか。<br>3. 辞書や図書館などの資料を利用し、疑問点や興味のあることを進んで調べようとしたか。 |
| 話す・聞く能力  | 1. さまざまな問題について自分の考えを持ち、筋道を立てて話したか。<br>2. 目的や場面に応じて効果的に話したり、相手の話を的確に聞き取ったりしたか。<br>3. 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場に立って話し合いを行ったか。       |
| 書く能力     | 1. 相手や目的に応じて題材を選び、効果的な表現を考えて書いたか。<br>2. 論理的な構成を工夫し、自分の考えを深め、文章にまとめたか。<br>3. すぐれた文章に接してその条件を考え、自分の表現に役立てたか。                         |
| 読む能力     | 1. さまざまな文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、要約したりしたか。<br>2. 文章を読んで構成や表現の特色をとらえたり、人物の心情描写や情景描写を味わったか。<br>3. 積極的に読書に親しみ、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりしたか。 |
| 知識・理解    | 1. 目的や場に応じた話し方や言葉づかい、文法、漢字等を理解して、語彙を豊かにしたか。<br>2. 文語のきまりや訓読のきまり、古典の時代背景などを正しく理解したか。<br>3. 国語の成り立ちや特質、言語の役割などを正しく理解したか。             |

## 6. 評価の方法

- ・定期考査
- ・小テスト
- ・教材の準備、学習活動への参加姿勢や態度
- ・授業ノート
- ・作品
- ・課題の提出状況

《指導計画》 科目名 国語総合

1 学年

3 単位

| 学期          | 月  | 学習内容<br>(単元・考査等)  | 学習のねらい  | 評価方法等   |
|-------------|----|---|---|---|
| 一<br>学<br>期 | 4  | 授業を受けるにあたっての心構えについて・図書館利用オリエンテーション<br>現代文編 1 感動する心 「メッセージ探しの旅」(加賀美幸子)   | ・国語の学習について理解する。<br>・筆者の主張を読み取り、感受性を豊かにし感動する心を育むことの大切さを理解する。   | 定期考査、小テスト、教材の準備、学習活動への参加姿勢や態度、授業ノート、作品、課題の提出状況等により、総合的に評価する。  |
|             |    | 現代文編 10 論理をはぐくむ 「水の東西」(山崎正和)  | ・論理の展開をつかみ、日本文化の特色に興味をもつ。   |   |
|             | 5  | 現代文編 2 小説を楽しむ 「子供たちの晩餐」(江國香織)<br>中間考査<br>古文を読むために① 古典の言葉<br>古典の窓 2 ことば遊びーなぞなぞ   | ・現代小説を読み、作品の構成・展開を正しくとらえ、読書への意欲を高める。<br>・古典の言葉に慣れ、正しく音読する。<br>・古典のことば遊びについて知り、古典に興味・関心を広げる。   |   |
|             | 6  | 古文編 1 古文に親しむ 「児のそら寝」(宇治拾遺物語)<br>現代文編 6 「心が生まれた惑星」(NHK取材班)   | ・古典を読むための知識を得る。<br>・叙述に即して文章の内容を的確に読み取り、人間の心についての理解を深める。  |   |
|             |    | 古文編 2 随筆の楽しみ 「高名の木登り」(徒然草)<br>古文を読むために② 品詞・用言の活用 係り結び   | ・人間に対する作者の見方、感じ方、考え方を理解する。<br>・古典の文法の基礎について理解を深める。  |   |
|             | 7  | 現代文編 3 日本語を見つめる 「季節の言葉と出会う」<br>期末考査<br>現代文編 8 詩歌との出会い 俳句  | ・季節を表す言葉の理解を通して、日本人の季節に対する感性について関心を深める。<br>・作品にうたわれている情景や心情を表現に即して読み味わう。  |   |
|             |    | 表現の窓 2 感想をもとに話し合おう  | ・俳句の感想をもとに話し合い、読みの交流を図る。  |   |
| 二<br>学<br>期 | 9  | 漢文編 1 漢文のとびら 訓読のきまり<br>漢文編 1 漢文のとびら 格言  | ・訓読のきまりを理解する。<br>・漢文を音読し、漢文に親しむ。<br>・それぞれの格言の意味を理解する。   | ・場面や登場人物の心情の変化を表現に即して読み味わう。<br>・登場人物の性格や心理の動きを読み取る。<br>・現代とは異なる恋愛の過程や、当時の結婚制度についての理解と認識を深める。<br>・文章を読んで、ものの見方、考え方を広げたり深めたりする。<br>・筆者の考えを叙述に即して的確に読み取り、働くことについての理解を深める。<br>・作品にうたわれている情景や心情を表現に即して読み味わう。<br>・随筆の文章表現の特色について理解する。<br>・見る人をひきこめるような表現を工夫して、自分の好きな本のPOPを作る。 |
|             | 10 | 現代文編 5 小説を味わう 『羅生門』(芥川龍之介)<br>中間考査<br>古文編 3 物語の世界 『伊勢物語』・筒井筒<br>古典の窓 3 恋愛と結婚<br>漢文編 1 漢文のとびら 故事成語 「守株」・「推敲」                 | ・孔子の学問や人の生き方に対する考え方を理解する。<br>・論理の展開をたどり、筆者の主張をつかむとともに、政治に対する理解を深める。<br>・統計資料を正確に読み取り、読み取った内容を的確な文章にまとめる。  |   |
|             | 11 | 現代文編 4 社会に生きる 「何のために『働く』のか」(姜尚中)<br>現代文編 8 詩歌との出会い 「一つのメルヘン」(中原中也)<br>古文編 2 随筆の楽しみ 「にくきもの」(枕草子)<br>表現の窓 9 本のPOPを作ろう<br>期末考査 | ・和歌に親しみ、作者の心情や描かれた情景を想像し味わう。<br>・和歌の修辞を理解する。<br>・漢詩の形式や表現について理解する。<br>・唐代の詩の名作に親しみ、作者の心情や描かれた情景を想像し味わう。<br>・自分の選んだテーマにそって詩歌を集め、アンソロジーを作る。<br>・俳諧に親しみ、作者の心情や描かれた情景を想像し味わう。 |   |
|             | 12 | 漢文編 3 孔子のことば 論語 学而第一<br>現代文編 10 論理をはぐくむ 「政治の本質」(橋爪大三郎)<br>表現の窓 7 資料をもとに文章を書こう   | ・日本人の自然の感じ方を理解する。<br>・中国の歴史物語を読み、出来事の経緯や登場人物の役割を的確に読み取る。<br>・登場人物の心理や性格を理解し、現代の短編小説の魅力を味わう。   |   |
|             |    | 古文編 4 和歌と俳諧の調べ 百人一首<br>古文を読むために 5 和歌の修辞<br>漢文を読むために 2 漢詩(唐詩)の形式と表現<br>漢文編 2 唐詩のしらべ 「山行」・「秋夜寄丘二十二員外」・「春望」                    | ・漢字の特色及び日本語における漢字の働きを理解する。  |   |
| 三<br>学<br>期 | 1  | 表現の窓 8 アンソロジーを作ろう<br>古文編 4 和歌と俳諧の調べ 『奥の細道』・平泉(松尾芭蕉)<br>古典の窓 4 『奥の細道』の旅<br>漢文編 4 物語へのいざない 「鶏鳴狗盗」(十八史略・曾先之)                   |   |   |
|             | 2  | 学年末考査<br>現代文編 5 小説を味わう 「水かまきり」(川上弘美)<br>現代文編 3 日本語を見つめる 「漢字の性格」(金田一春彦)  |   |   |
|             | 3  |   |   |   |